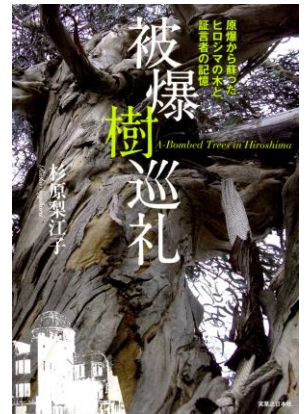


被爆樹木から学ぶ原爆と人と

〈被爆樹木・被爆建物を巡るフィールドワーク〉

「・・・そういうある日、爆心地に近い国泰寺の大楠の木の根元に、黒山の人だかりがした。焼け残ったこの老樹は、一枚の葉もなく、枝も幹も黒こげになってかろうじて立っているようすであった。その根元から1メートルほどのところに、青い双葉の小さな芽が一つ、ぽつんと出ている。「あっ！芽が出ている！」通りがかった一人が発見して声をあげた。そばを歩いている人たちがかけよって、楠木の根元を取り囲んだ。「ほんと！ホラ、青い芽が・・・」中には、その薄茶色がかった青い一穂の芽を、なでさすらんばかりにして、涙ぐんでいる婦人もあった。七十五年間、草木も生えぬといわれた原子砂漠に・・・」(浜井信三著「原爆市長」)

原爆に耐え、被爆者を勇気づけた被爆樹木。その前に立ち、被爆樹木が語りかける物語を聞いてみませんか。被爆70年に書籍『被爆樹巡礼』を出版された文筆家、杉原梨江子さんと白島周辺の被爆樹木を巡ります。被爆樹木に関わる被爆証言もお聴きする予定です。まだあまり解明されていない植物への放射線の影響についても考えます。被爆建物のことも学びます。新緑の五月、芽吹きを感じながら歩いてみませんか？



【日時】2016年5月3日(火・憲法記念日)9時30分～11時30分ころ

【集合場所】広島電鉄白島線終点「白島」駅前、広島逡信病院裏の日本郵政前付近

【ルート】被爆アオギリ二世と被爆建物の逡信病院旧外来棟→禿翁寺(被爆カエデ、被爆地藏等)→光明院(被爆ナツミカン)・白島原爆死没者慰霊碑▷碓神社(被爆ソメイヨシノ等)→宝勝院(被爆ツバキ、ボダイジュ)→被爆建物の安楽寺(被爆イチヨウと被爆証言、イチヨウの葉の奇形と放射線被害の可能性について)→徒歩かバスで→饒津(にぎつ)神社(被爆マツの年輪等)ここでいったん解散します。時間に余裕がある方は二葉の里の被爆樹木もご案内します。明星院→鶴羽根神社→東照宮→1号街区→広島駅解散

※参加は無料です。どなたでもかまいません。途中で離脱されてもかまいません。暑さ対策を充分されて、ご参加ください。(雨天の場合はルートを短縮して行う可能性があります。)

●案内者:杉原梨江子(文筆家、木の文化研究。最新刊は『被爆樹巡礼～原爆から蘇ったヒロシマの木と証言者の記憶』実業之日本社刊)

●問い合わせ・申し込み:多賀俊介(旧被服支廠の保全を願う懇談会、広島・ヒロシマ・広島を歩いて考える会)

携帯電話:090-6432-5054 電話・FAX:082-2727-6464

Eメール:taga.s@do2.enjoy.ne.jp